

トピックス 2023.5.19

新聞記事に載っちゃいました。

弊社常務の具志が5/16（火）の沖縄タイムスさんの記事に載っちゃいました！
 地元、字豊見城の散歩マップが完成し、その取材にたまたま(!?) 居合わせたとのこと。笑
 歴史や名所など見どころが紹介されていて、とても参考になるマップだそうです。
 コースの中には、見晴らしがよい場所もあるそうです。
 豊見城へお出かけの際には、ショッピングもいいが、こういうお散歩もいかがですか？
 マップは、地元の小学校に配布された他、豊見城自治会でも置いているそうです。



【豊見城】豊見城市発祥の地にある「字豊見城自治会」はこのほど、地域の歴史や名所を紹介するパンフレット「字豊見城ドゥームラおさんぽマップ」を発行した。貴重な火種を管理した場所や古代インドの文字が刻まれた「梵字の碑」、御獄など10カ所を写真と文字で説明するほか、中面には地域の見どころを紹介し2時間ほどで周遊できる。嘉数浩自治会長(70)は「夜景の美しい場所もある。地域外の人を訪ねて、集落の誇りと伝統を知ってほしい」と活用を呼びかけた。
 (南部報道部・又吉健次)

自治会がドゥームラ散歩マップ制作

字豊見城歩いて学んで

歴史や名所紹介 2時間で周遊

ドゥームラとは字名と市町村名が同じ集落を指し、自治体を代表する場所のことだ。豊見城地番には4自治会があり、「字豊見城自治会」のエリアを中心に紹介。パンフレットはA3判の三つ折りで2方を発行した。

同自治会は県の「沖縄らしい風景づくりに係る人材育成事業」に選ばれ、地域の景観を守り残そうと2018年度からサクラ並木通りづくりやアカバナー植栽などを実施。昨年度はその集大成として「地域紹介に取り組みイラストマップを作ろう」と考えた。

地域景観リーダーの4人を中心に話し合い「手で持ち地域を歩いて回ってもらう方法はないか」と思案。パンフを開くと10カ所の名所紹介が記され、さらに開くと地図が現れて場所を確認できるように工夫した。

パンフは自治会でもらえるほか、地元のゆたか小学校には児童全員分を寄贈する。編集に携わった上原寿さん(70)は「住民の心よりどころとなる場所を選んで掲載した。区民には地域の良さを再発見してほしい」と語った。

「梵字の碑」のそばで、字豊見城の歴史や名所を紹介するパンフレットを広げる(右から) 嘉数浩自治会長、上原寿さん、具志幸広さん 10日、豊見城市豊見城